

## 美工 26 期

クラス代表 武田 勲

希望の美工 26 期生として入学できたことは、喜びでした。が、しばらくすると 2 年生から入学歓迎会をするので、混声合唱団をクラスで構成して指揮者を決めて披露してくださいと下命？がありました。

これはえらいことになった、と女性の代表と頭を抱えました。まず、歌う曲を決めなければなりません。披露するまでの日数は 1 カ月しかありませんし、練習をする場所はどこでいつ？するのか、まだ名前も顔もわからない仲間 36 人が不安そうにしている状態でした。歌は瀧廉太郎作曲の「花」に決め、お昼休みに教室で 10 分から 20 分練習することにして、曲を流さずに伴奏なしでする方が歌いやすいことを知りました。

5 月 21 日が歓迎会でした。みんな緊張して先輩たちの好奇の目を意識しながらそれでも無事に歌い終え、3 年生の方からよく声が出ていましたよ、と励ましのお言葉もいただきました。式典を終えて肩の荷が軽くなったのも束の間の事、今



度は、「美術の基礎を学ぶ」で、鉛筆で描く構図を考えて、モチーフの基本形（丸や三角）を意

識して描き、陰影や質感の表現に苦労しました。

宿題で、自宅にて水彩画（淡彩画）に着色して、勅使河原先生にアドバイスをいただき、学園祭に展示しました。次に、「陶芸ができるまで」の、「手びねりで碗を作る」で、NHK の朝ドラ「スカーレット」のように赤松先生の指導で、ろくろと粘土細工でお碗を仕上げ、学園祭で展示しました。次に、「たたら作りで皿を作る」の校外学習で河井



寛次郎記念館見学と容赦なく授業が続きました。絵画、陶芸のクラブに入らなければ卒論に苦労

するらしいと、どこからとなく耳に入ります。

今そちらの方に振り回されて、学園生活の面白さや楽しみは 2 年生が終わるころだろうと思いがの毎日が続いております。

## 音文 26 期

クラス代表 廣瀬 和孝

「乾杯♪」の大合唱が、真昼間の太陽が輝く板宿の居酒屋から響いてきます。紛れもない K S C 音楽文化専攻 26 期生、愛称「響 26」の面々です。この日は、塩屋から須



磨アルプスの山登り組、須磨離宮公園散策組、直接参加組が板宿で合流して、真昼の懇親会となった次第

です。貸し切りとはいえ飲みや歌えと、そのエネルギーはすさまじいものでした。

音文 26 期は 50 歳代から 80 歳代まで幅広い年代の、女性 26 名、男性 13 名、総勢 39 名の仲間です。音楽の経歴はみんなさまざまです。音楽鑑賞が好きな人、何年もコースをしている人、ピアノ、フルート、バイオリン、エレクトーン、ハーモニカ、オカリナ、尺八、和太鼓とさまざまな楽器を奏でる人、ダンスが得意な人など、楽しみ方は色々ですが、「音楽が大好き！」という点ではみんな同じです。

そして私たちを指導してくださるのは超一流の素晴らしい先生ばかりです。お話はとても興味深く、ユーモアたっぷりの授業に引き込まれます。先生方の歌や演奏を特等席で観てうっとり感動することもあります。音文って、素敵だと思いませんか？

こんな私たちだから、学園祭の合唱曲選定やその練習では抜群のチームワークを発揮します。トトロで歌われた有名な「君をのせて」を素晴らしいハーモニーで奏でることができたのは、まだ記憶に新しいところです。自我自賛ですが。（笑）

今から歓送交流会に向けて、合唱・パフォーマンスの練習が始まります。練習は大変ですが、楽しい雰囲気の中で、少しずつうまくなっていくのをみんなで喜びながら、素敵な響きを目指します。これからもクラス一丸となって、ワクワクする楽しい学園生活を過ごしたいと思っています。

音文 26 期「響 26」万歳！

